

今井城学園通信

社会福祉法人 天使園
児童養護施設
今井城学園
青梅市今井 2-1207-8
発行日 2011年7月
第1号

園長あいさつ

小田川広明

このたび、地域の皆様へ向けて今井城学園通信を発行することにいたしました。私は、施設長をしております 小田川広明 と申します。はじめに少しだけ自己紹介をいたします。私は、大学を卒業後、一般企業を経て平成4年4月に今井城学園に就職いたしました。その後10年間はケアワーカーとして勤め、平成14年からは事務員として子ども達の生活を後方から支援しておりました。平成19年4月から今井城学園の4代目施設長を任命され、5年目になります。



さて、今井城学園通信を発行するにあたり、児童養護施設について少し触れたいと思います。児童養護施設は、児童福祉法第41条に規定されており「児童養護施設は、保護者のいない児童、虐待されている児童その他環境上養護を要する児童を入所させて、これを養護し、あわせて退所したものに対する相談その他の自立のための援助を行うことを目的とする施設とする。」とあります。様々な事情の為、家庭での生活が困難になった子ども達を、家庭に変わって養育しているのが児童福祉施設です。児童養護施設の中には様々な専門職が働いています。(保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、心理士、栄養士、調理師、教員免許取得者、ファミリーソーシャルワーカー等)今井城学園通信をとおして、職員の専門性を生かし“児童養護施設 今井城学園”を地域の中の一資源としてどのように活用していただけるのか、考え・提案していきたいと思います。今後、年間2回程度今井城学園通信を発行していきますので、子育て等にご活用ください。

学園紹介シリーズ

No. 1

今回は、“今井城学園通信”第1号ですので、今井城学園の生い立ちを紹介したいと思います。初代施設長 池田九郎は孤児救済事業として昭和24年 山梨県瑞牆山みずがきの麓に「瑞牆山少年の町 天使園」が創設されました。当時は、戦災孤児が110名以上生活していました。昭和44年 青梅市今井1丁目に「今井城学園」として移転してきました。当時から、今井地区にお住まいの方は、「天使園」の方がなじみやすいかと思います。平成8年には施設建物の老朽化の為、今井2丁目(現在地)に新築移転しました。平成17年 青梅市新町にグループホーム“みずがき”、平成21年 青梅市河辺町にグループホーム“みき”、平成23年 瑞穂町箱根ヶ崎にグループホーム“いぶき”を開設し、定員は52名です。グループホームとは、一般住宅を活用して6人の子ども達が地域の中で生活する形を言います。次に写真で、現在の今井城学園を紹介します。



本園



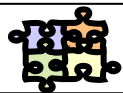
GHみずがき



GHみき



GHいぶき



今井城学園本園職員 有木 清崇

こんにちは。今井城学園で児童指導員として働いている有木清崇です。今井城学園には幼児さんから高校生まで生活をしており、大変なことも多々ありますが、毎日それぞれの子どもたちの成長を見ることができています。また、今井小学校のPTA役員もやらせていただいております、地域の方に支えられているということ、身を持って実感しています。今井地域の一員として、子どもたちが真っ直ぐに育っていけるよう、自分達も日々子どもたちを支えていきたいと思っています。

真面目な事を書いています、適当な所も結構あるそんな人間です(笑) どこかで見かけた時には、声を掛けて下さい。これからも、今井城学園をよろしく願います。



GHみずがきホーム長 今井 紀充

初めまして。新町にあるグループホーム(GH)みずがきでホーム長をさせて頂いている今井と申します。GHでは、より家庭的な養護を目的として、児童6名と職員3名が交代で生活をしています。現在のメンバーは、小5男子・小6男子・高1男子・中2女子・高2女子・高3女子の6名です。皆、時にはケンカをし、時には、笑い声あふれる時間を過ごしながら、日々協力して過ごしています。

本園同様、地域の皆様にも暖かく受け入れて頂き、子ども会行事や町内会行事に参加して、子ども達なりに、地域の一員としての活動や思い出作りができています。放課後には友達も大勢遊びに来てくれます。これも地域に密着したGHの姿の一つだと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。



ボランティアさん紹介

No. 1

K I D S (キッズ)

KIDS は 1992 年に、当時日本にいた外国人とその友達が発足したボランティア団体で、ハンディキャップをもつ子ども達向けのイベントや、児童養護施設への定期訪問を実施しています。メンバーのほとんどはサラリーマンとOLで、週末や休日、そして仕事が終わった夜に活動をしています。私たちが今井城学園を訪問するようになったのは、10年ほど前からだと思います。当時は園庭にブランコや滑り台を作ったり、クリスマス会を出し物をしたりしていました。現在は学園の行事に参加させて頂いたり、ディズニーランドへお出かけや、お正月の福引などのお楽しみを提供しています。また、週末の1日を学園で子ども達と遊んで過ごすということもしています。

KIDS のボランティアは、職員や学校の先生たちのように、生活に密着して子ども達の成長を支えることはできません。では社会人ボランティアとは何なのでしょう。私たちは、子ども達が卒園・卒業したらやがて出会うであろう会社の先輩、町のおじさん、おばさんのような存在でありたいと思っています。学園の外の社会と接する機会の少ない子ども達の多くが、卒園後大人との人間関係に戸惑うと聞きます。私たちボランティアとの触れ合いが、親御さんや先生ではない大人と接する経験として、少しでも子ども達にプラスになってくれることを願っています。

子ども達との触れ合いは、明日へのエネルギーとなります。これからも子ども達の笑顔に会いに、学園を訪問したいと思います。

NPO KIDS 深田保志子





私たちは地域の子育てを支援します

ほっと・ファミリー

ファミリー・ソーシャル・ワーカー 吉澤恵

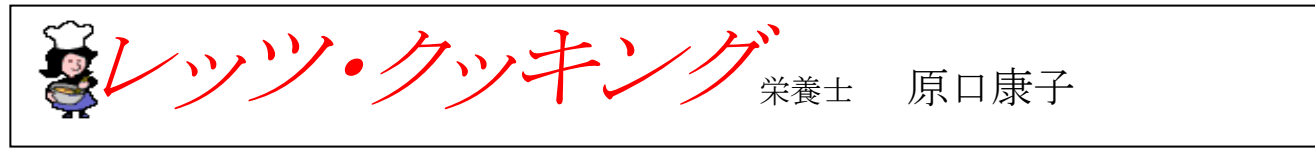
子

子ども達一人一人が安心して安全な生活を送る事が出来る様に児童養護施設には色々な職種の職員が協働して働いています。その役割のひとつである子どもの家庭との調整役を担っているのがファミリーソーシャルワーカー（家庭支援専門相談員）です。仕事の内容は、色々な事情で離れて暮らしている子どもと親（親族）の架け橋になる事です。子どもの気持ちを親（親族）に伝えたり、親（親族）の気持ちを子どもに伝え、早い段階で家族が再統合できる様に支援します。直接的な親支援として親子交流に立ち会って、具体的に子どもへの関わり方の助言を行ったり、相談に応じたり悩みを聞いたりして、一緒にどうしたら良いかを考えます。また、色々な社会資源の情報を伝え、利用が出来る様に導きます。更に、他の関係機関と協力をして、親の子育てスキルアップに努めて行きます。施設内においては、子どもと職員との架け橋になれる様に努めております。職員に助言を行ったり、子どもの悩みを聞いたりします。会議においては、親（親族）の立場に立って発言をして、親の代弁者になれる様に心掛けております。親（親族）との交流がない子どもには、地域の中で「フレンドホーム」や「養育里親」などの委託の開拓に努め、子どもが成人して自立するまでの間に家庭生活の体験が出来る様な機会が持てる様に働き掛けております。

現状はまだ施設内だけの動きしか出来ていませんが、少しずつ地域で子育てをしている若いお母さんやお父さんの育児相談を行ったり、子育て家族の交流基地となり、様々な情報を提供したり、そこに行けば話を聞いて貰えたり、子ども同士を遊ばせたり、親自身がホッと出来る場所の提供が出来たら良いなあ～という夢を持っています。地域の資源として、児童養護施設を広く開放できたら良いと考えています。その中で、ファミリーソーシャルワーカーという職種を担っている私をたくさん利用して頂けたら・・・と、願っております。



はじめまして。今井城学園で心理士をしております、尾曾 亮彦（おそ あきひこ）と申します。今日は今井城学園の心理士の仕事についてお話ししたいと思います。今井城学園には、何らかの事情により親元で暮らせない子どもたちが暮らしています。様々な、そして重大な経験を経て、入所してきます。特殊な環境で育っている子どもたちですので、日常生活において様々な困難が待ち受けています。そんな子どもたちと、子どもたちを支援する職員（主にケアワーカー）たちをサポートすることが児童養護施設の心理士の役割です。常勤・非常勤合わせて 5 名の心理士が在籍しています。もう少し具体的にご説明しましょう。まずひとつは、入所児童に対する個別の心理療法です。今井城学園には、『心理室（プレイルーム、お遊びのお部屋）』と呼ばれる部屋があります。ここで、基本的に毎週決まった曜日の決まった時間に、45 分間、子どもと心理士がともに過ごします。子どもたちはそこで、心理士との関わりを通じて、様々な表現をし、心理士はそれを理解していくことに努めます。第 2 に、心理士が子どもたちの暮らしているスペースにお邪魔して、子どもたちと遊んだり、宿題を見たり、行動観察をします。日常生活の様子から、子どもたちのことを理解するよう努めます。そして第 3 は、職員（ケアワーカー）とのコンサルテーションです。子どもたちの支援をするケアワーカーさんたちもまた、日々奮闘しながら仕事をしています。時には、異なった視点からの意見を必要とすることもあります。そんな時に、我々心理士が、心理学的視点から、提案をさせていただいています。コンサルテーションは、チームで子どもたちの支援をしていくにあたり非常に重要な仕事のひとつです。主にこの 3 点が今井城学園での心理士の仕事です。今井城学園には心理士という職種があり、職員の一員として子どもたちの支援にあたっている、ということがご理解いただけましたでしょうか？それでは、今回はこの辺で…。



Q：今井城学園の子ども達はどんなものを食べているの？

A：煮物や野菜の和え物など、子ども達が敬遠するような料理やカレーライスや牛丼、鶏の唐揚げなど好んで食べてくれる料理を皆さんと同じように作っています。どうしたら嫌いな食材を口にしてくれるのか・・・試行錯誤しながら毎日の食事を作っています。そこで、通信 1 号目は「嫌いな野菜を食べてもらおう！」をテーマに当学園の子ども達が「これなら食べられる！」と話しているレシピをご紹介します。

【にんじんポタージュ】 4 人分

- | | | | |
|-------|-----|---------|--|
| にんじん | 中 | 1 本 | ①にんじんを 0.5 cm 幅の輪切り、たまねぎをスライスにする。 |
| たまねぎ | 中 | 1/3 個 | ②鍋にバター A を入れ、たまねぎを炒める。 |
| バター A | 大 | 1/2 杯 | ③たまねぎが透き通ってきたら、水・にんじん・米を加え中火で煮る。 |
| 米 | 大 | 1 杯 | ④にんじんに火が通ったら、ミキサーにかける。(裏ごしでも OK) |
| 水 | カップ | 2 1/2 杯 | ⑤④を鍋に戻し、コンソメ・牛乳を入れて一煮立ちさせ、塩・コショウ・バター B を加え出来上がり。 |
| コンソメ | 小 | 1 杯 | ※にんじんを煮ている際、水が蒸発してしまい水分が足りなくなってしまうこともあるのでお水を足す必要があります。 |
| 牛乳 | カップ | 1/2 杯 | 中央にパセリやクルトンを散らすと見た目も良いです！ |
| 塩 | 小 | 1/2 杯弱 | |
| コショウ | | | |
| バター B | 大 | 1 杯 | |



子育て情報コーナー (o)

子育てに役立つ情報をお届けするコーナーです。

今回は、ボランティアでこの地域の主任児童委員をされている**安藤有**さんにインタビューしました！

Q.主任児童委員を始めたきっかけはなんですか？A.児童虐待が増えて、児童の民生委員が必要になり、地域で推薦されて、引き受けました。**Q.どのような活動をしていますか？**A.ネグレクトや虐待を発見して通告すること、ケース毎に会議をして対象家庭を見守ることなどを行っています。虐待の可能性のある時は、学校に連絡して、養護教諭に傷の確認をしてもらうこともあります。**Q.読んでいる方に伝えたいことは？**A.虐待ではないかと感じたら必ず通告して欲しい。それは義務でもあるし、それで命が救えるかも知れない。是非そうして欲しいと思います。

東京都民生児童委員連合会 ☎03-3235-1163。

学園からのお知らせ (o)



昨年度の工作教室の様子

今井城学園では、昨年度から地域交流行事の1つとして、「工作教室」を始めました。春と秋に年2回開催しています。地域の方々に学園に足をお運びいただく機会をもつことで、もっと学園のことを知りたい、理解を深めて頂きたいという思いから始めました。内容は、小学生向けの工作です。休日の午後のわずかな時間ですが是非お子様と一緒に楽しんでいただければ嬉しいです。先月に開催し、次回は11月の予定です。11月は工作だけでなく様々な催し物を用意して皆さんのお越しをお待ちしております。お忙しいとは思いますがどうぞお出かけください！

編集後記 おかげさまで「今井城学園通信」第1号を発行することができました。この通信を通じて、今井城学園を地域の皆様に広く知っていただき、職員の持つ専門知識が皆さまの生活に少しでもお役に立てればと願っています。記事の内容に関して、ご質問、ご要望等がございましたら、下記の連絡先まで遠慮なくご連絡ください。(編集委員)

今井城学園 電話 0428-31-2277 e-メール info@imaijyo.or.jp
ホームページ <http://www.imaijyo.or.jp>